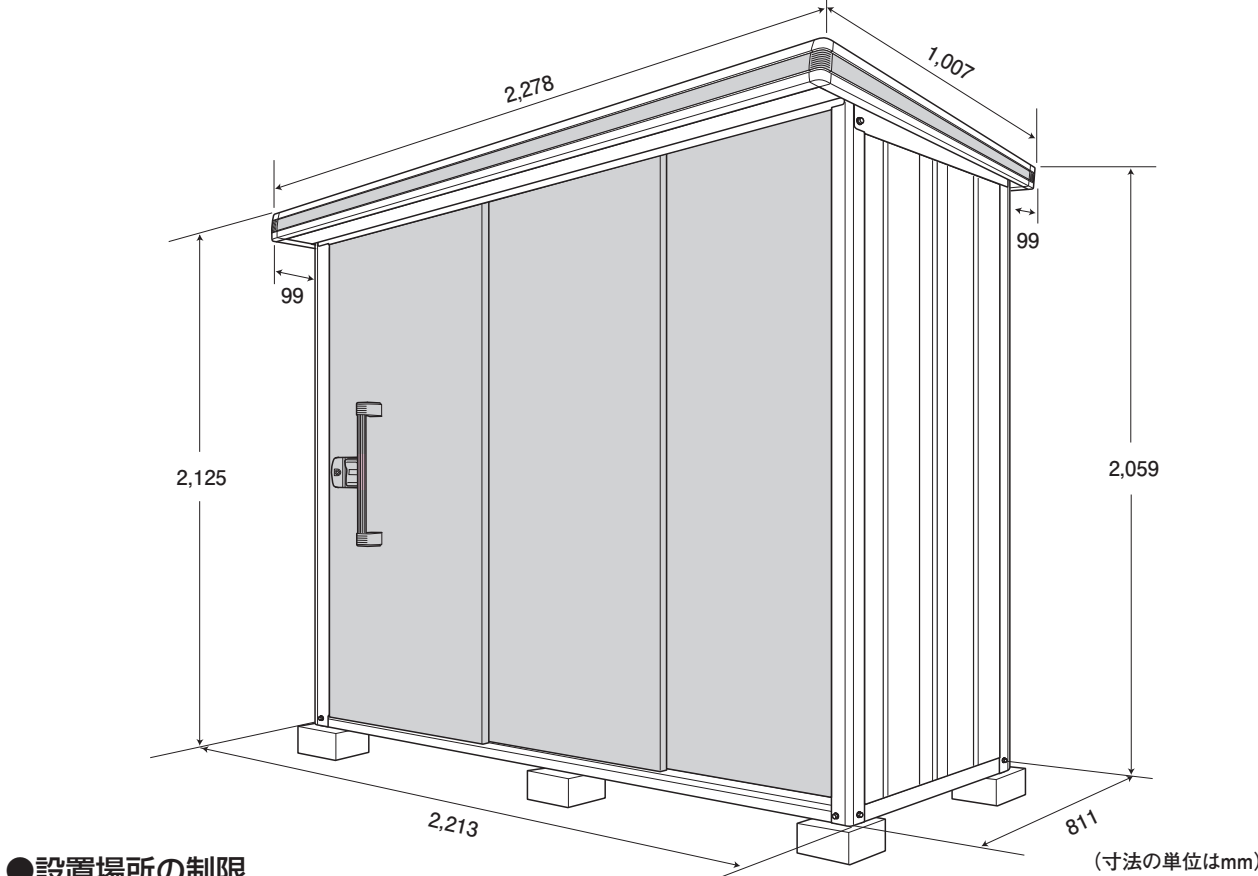


ヨド物置エルモ

組立説明書LMD-2208型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 風のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機 種	2208 型
部 品	LM5-0141
上枠前後(一般・積雪共用型)	LM5-0205
上枠前後(豪雪型)	LM5-0209
下枠前後	LM5-0255
上枠左右(一般・積雪共用型)	LM5-0301
上枠左右(豪雪型)	LM5-0310
下枠左右	LM5-0351
柱	LM5-0416
扉開し	LM5-1105
床	LM5-0703
屋根	LM5-0903
壁	LM5-1001
袖壁	LM5-1004
扉	LM5-1055
扉	LM5-1705
屋根板	LM5-1901
合計	一般・積雪共用型 14 豪雪型 14

●梱包内容表

●部品 LM5-0141	●上枠左右 LM5-0301	●床 LM5-0703	●扉 LM5-1705
部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量	部材名 数量
ELD 隅栓固定金具 2	ELD 上枠左 A1.0 1	ELD 床板 A1.0 6	ELD 扉前 L-A 1
ボルト(スリット) M6×15 5 (1)	ELD 上枠右 A1.0 1	●屋根 LM5-0903	ELD 扉後 L-A 1
ELD 柱補強金具(AS) 1	(1=一般・積雪共用型)ラベル貼付付)	部材名 数量	ELD 扉支持材 AS-A 1
ELD 下レールキャップ 1	LM5-0310	ELD 屋根(70) A1.0 3	ボルト M6 × 15 (白) 3
T型レンチ 1	ELD 上枠左 A1.0 1	●壁 LM5-1001	ELD 取手 1
ELD アンカープレート(L) 4	ELD 上枠右 A1.0 DLU 1	ELD 扉開し 1	ELD 扉開し後 A1.0 3
ELD 屋根開閉開し A 2	(「豪雪型」ラベル貼付付)	●袖壁 LM5-1004	ELD 扉開し後 A1.0 3
ELD 屋根開閉開し B 1	●下枠左右梱包 LM5-0351	部材名 数量	●屋根板 LM5-1901
EL 鍵スワッチ 1	部材名 数量	ELD 下枠前 A1.0 (左) 1	部材名 数量
ボルト M6 × 15 (白) 121 (5)	ELD 下枠前 A1.0 (右) 1	ELD 下枠後 A1.0 (左) 1	ELD 扉開し前 A3.0 1
組立説明書 1	●柱 LM5-0416	ELD 下枠後 A1.0 (右) 1	ELD 扉開し後 A3.0 1
保証書 5 年 1	部材名 数量		
※() 内は予備	ELD 柱前 AS-右 L 1		
	ELD 柱前 AS-左 L 1		
	ELD 柱後 L 2		
	ELD 扉開し (M) L 1		
	ELD 隅柱前 L 1		
	ELD 隅柱後 L 2		

○部材名称にはA1.0、A3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立てでは、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 6ヶ (幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)
- ※土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー (右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧

ボルト(白) M6×15	ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15
-----------------	-------------------------------

●アンカー工事について

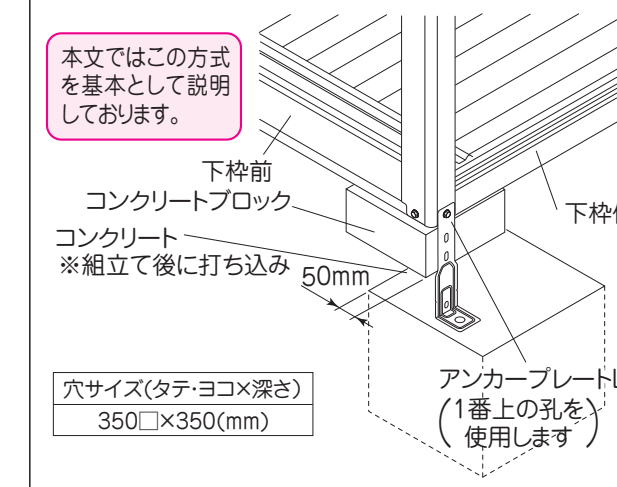
アンカー工事は設置場所によって下図

のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。

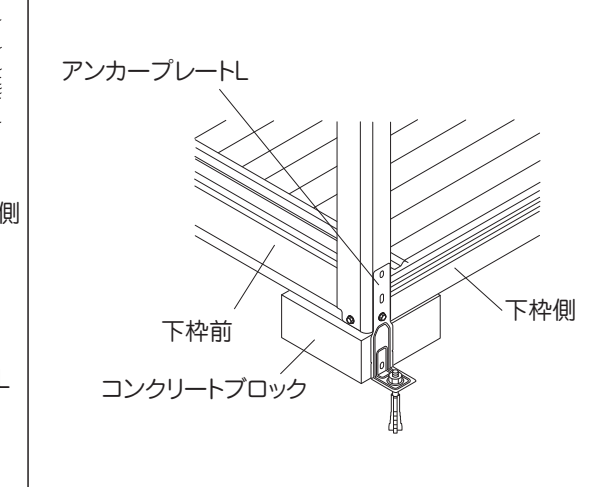
《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



《コンクリート床の上に設置する場合》

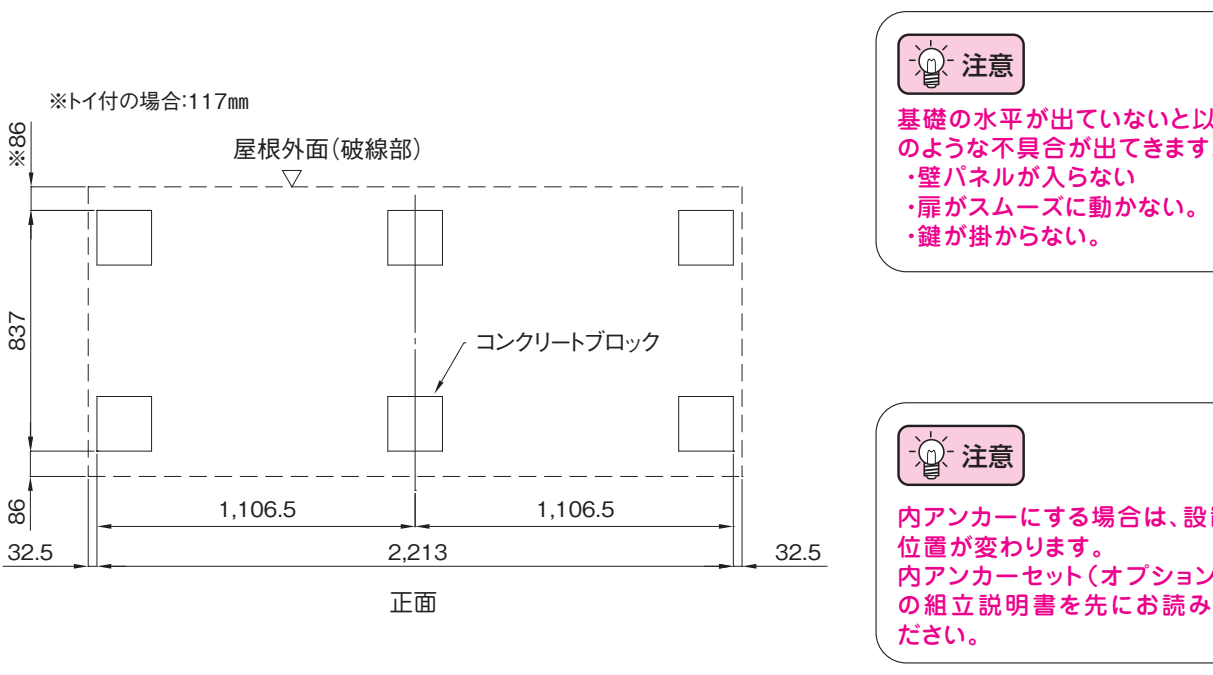
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー(M12・70以上)で固定してください。



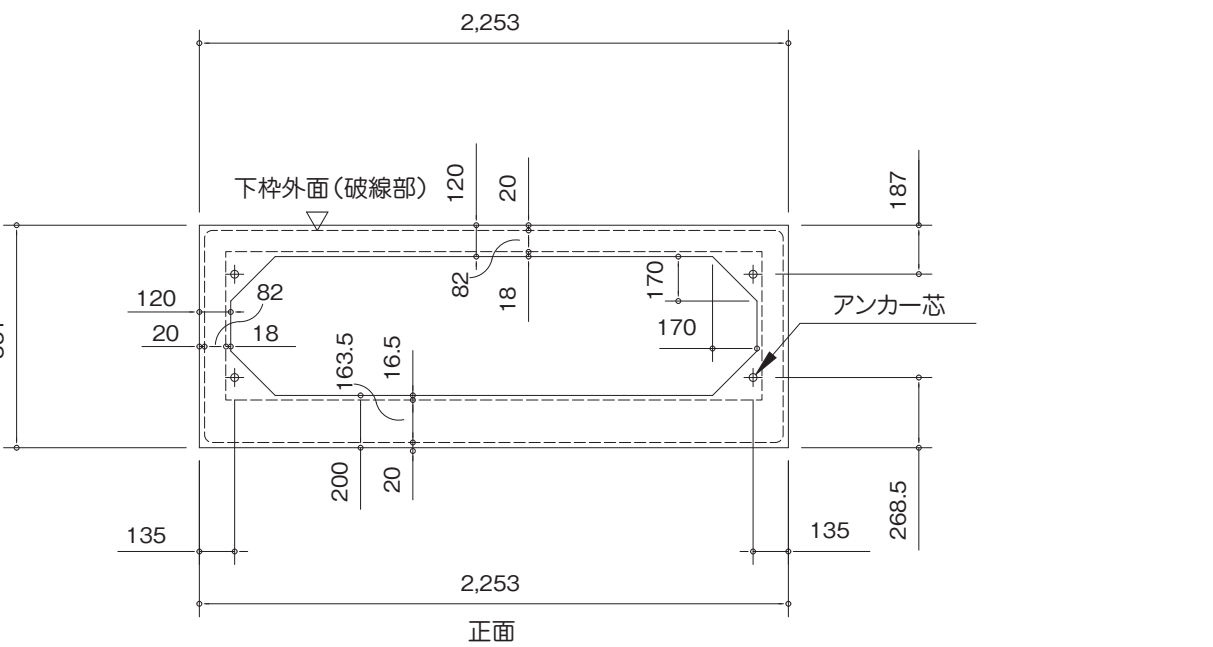
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



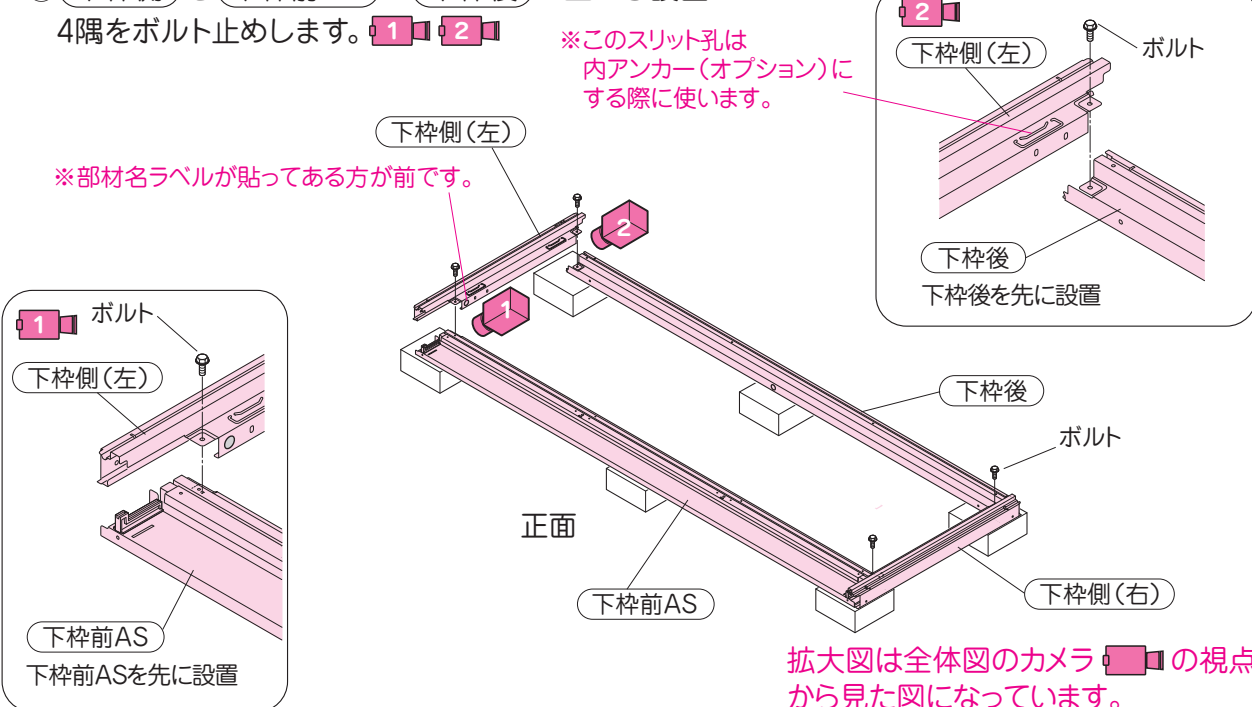
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

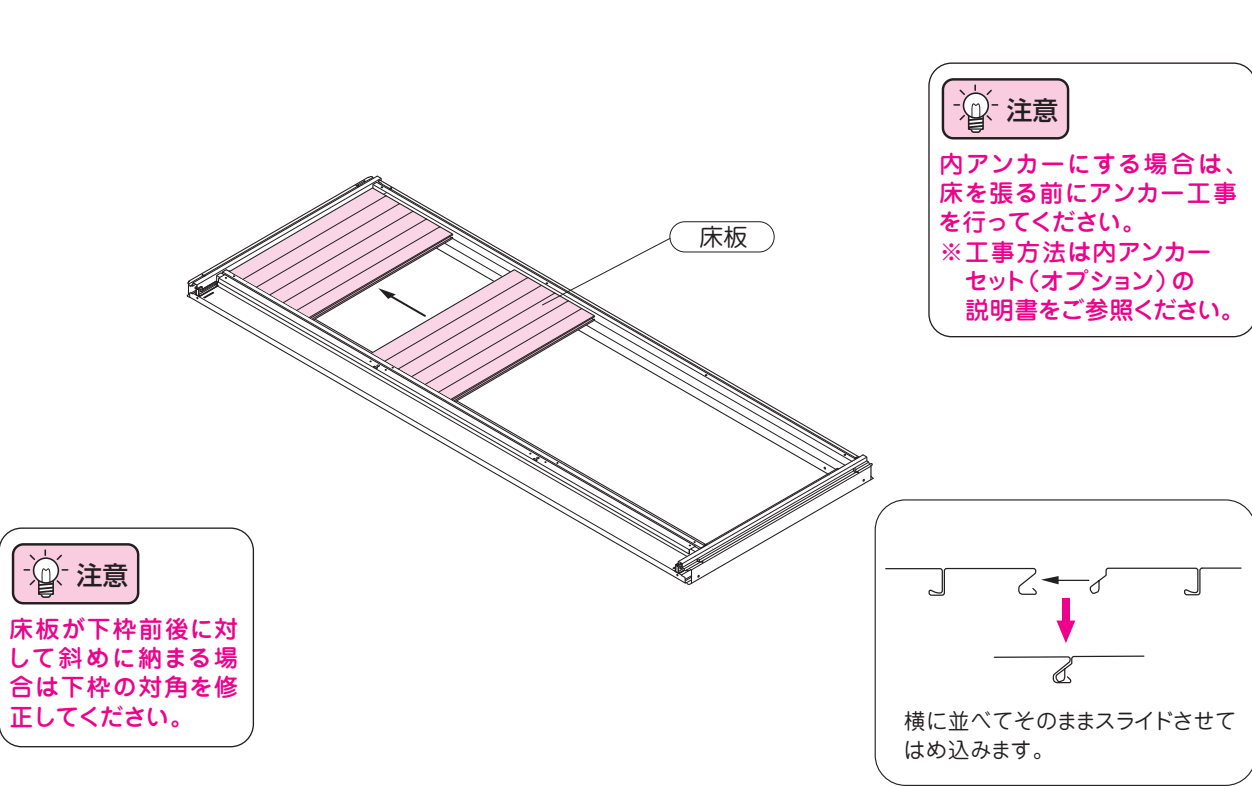
2 下枠の組立

- ①(下枠前AS)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



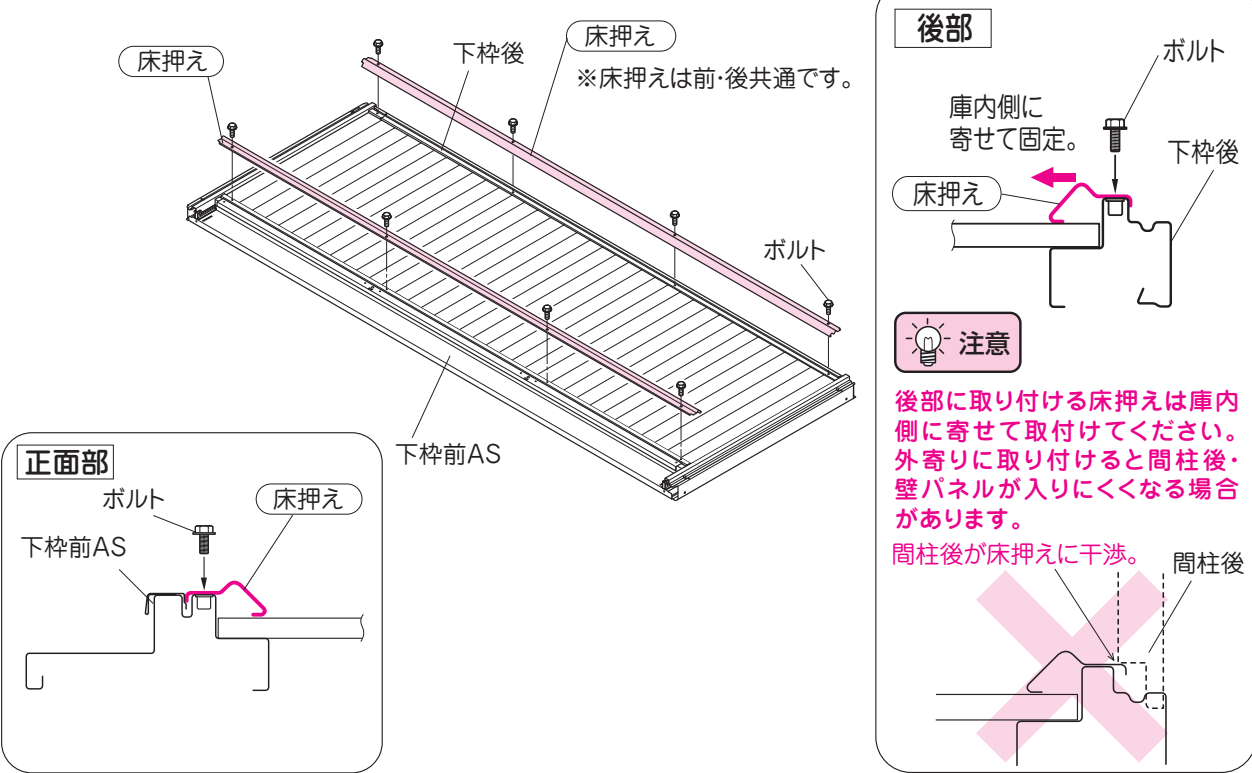
3 床の設置

- ①(床板)を左端、もしくは右端(どちらからでも構いません。)から順番に並べていきます。



4 床押えの取付け

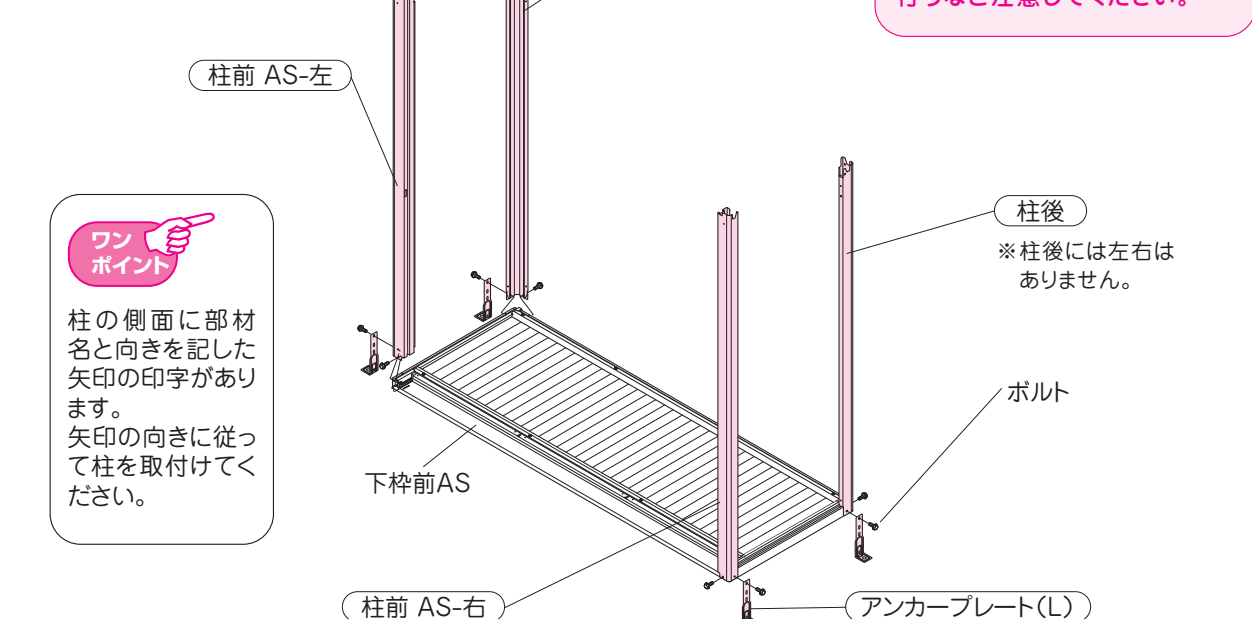
- ①(床押え)を下枠前AS・下枠後に取付けます。



5 柱の取付け

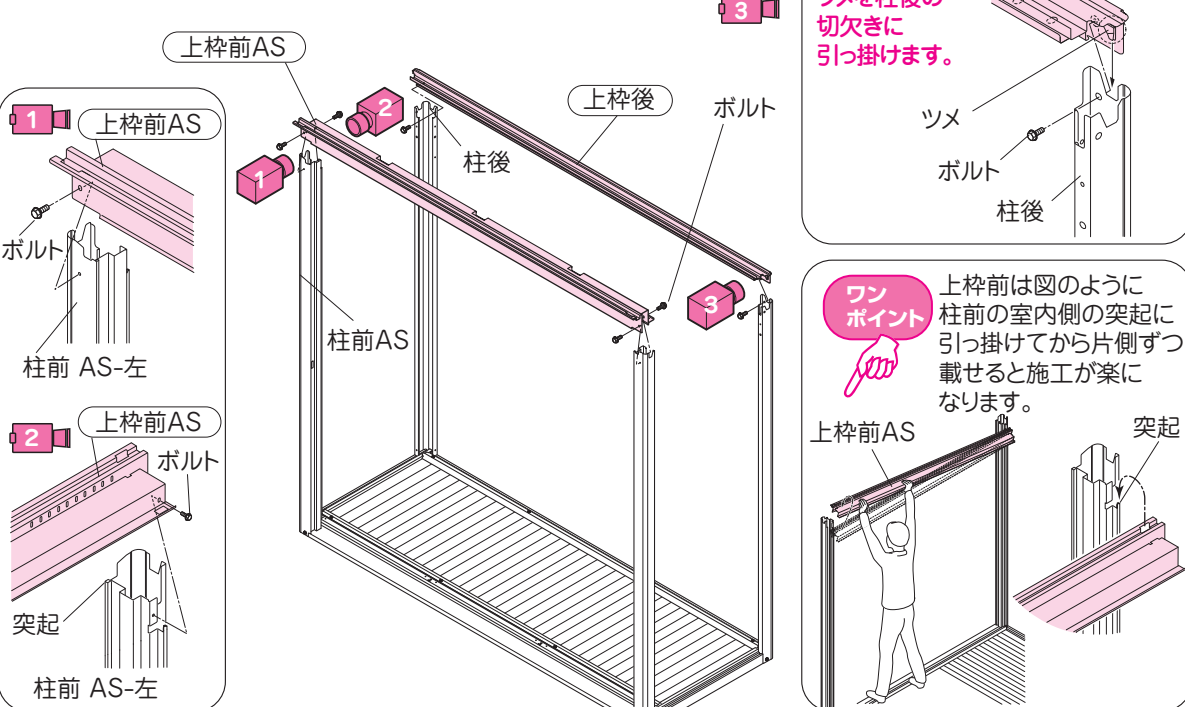
- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。

※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート(L)を側面にボルト止めします。



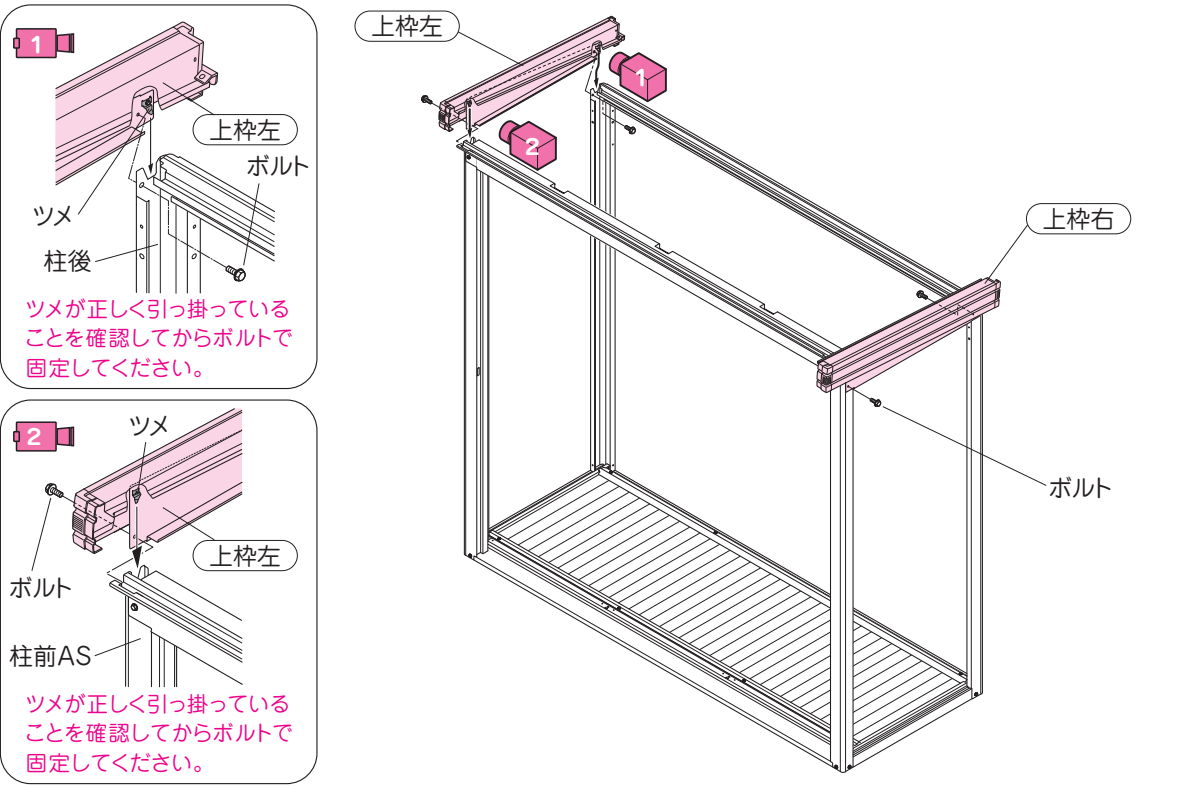
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



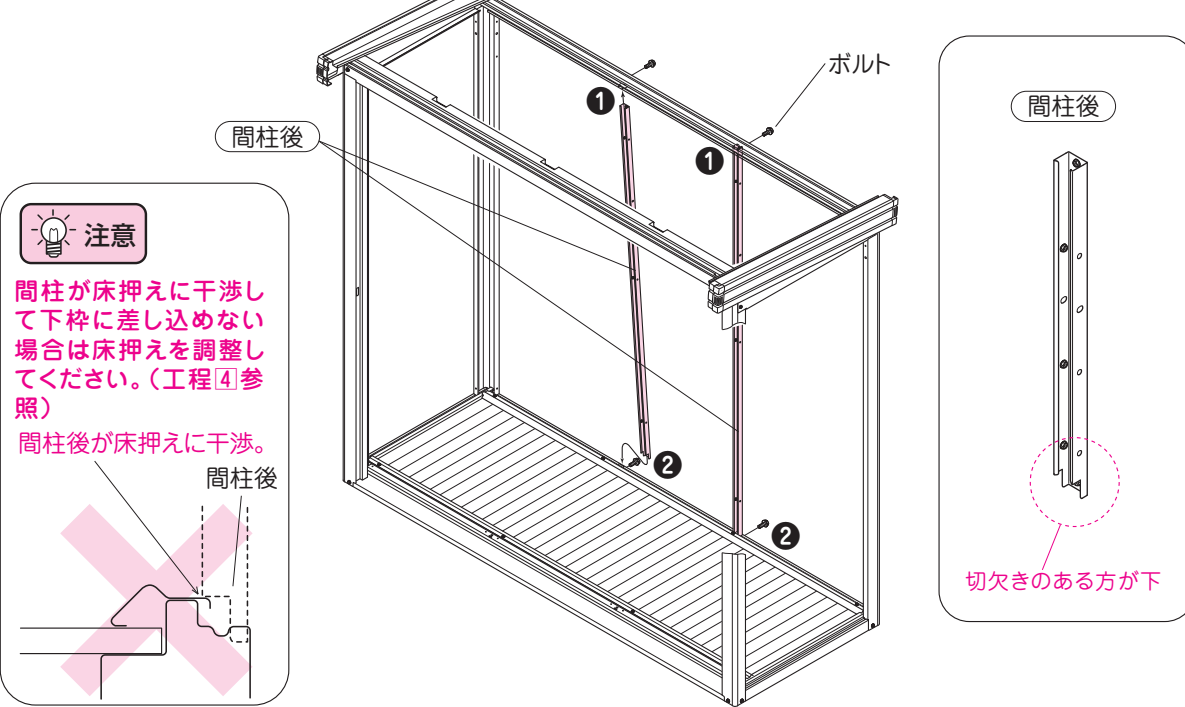
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。



8 間柱後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。



9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。

※裏面に「前 屋根」の印字がある方を前にします。

